

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【公開番号】特開2010-110000(P2010-110000A)

【公開日】平成22年5月13日(2010.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2010-019

【出願番号】特願2009-287030(P2009-287030)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/667 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 8/22 (2009.01)

H 0 4 W 12/02 (2009.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/667

H 0 4 M 1/00 R

H 0 4 Q 7/00 1 5 2

H 0 4 Q 7/00 1 8 1

H 0 4 Q 7/00 6 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月8日(2010.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着信があったときに相手端末の電話番号を識別可能な携帯電話機であって、  
 同一の相手端末からの着信の回数をカウントするカウント手段と、  
前記カウント手段のカウント値が予め定められた時間のうちに予め定められた着信回数  
の値になったときに携帯電話機の機能を制限する処理手段と、  
前記処理手段により携帯電話機の機能が制限された状態のとき、暗証番号が入力される  
ことにより当該携帯電話機の機能が制限された状態を解除する解除手段とを有することを  
 特徴とする携帯電話機。

【請求項 2】

着信があったときに相手端末の電話番号を識別可能な携帯電話機の制御方法であって、  
 同一の相手端末からの着信の回数をカウントし、  
カウント値が予め定められた時間のうちに予め定められた着信回数の値になったときに  
携帯電話機の機能を制限する処理を行い、  
前記携帯電話機の機能が制限された状態のとき、暗証番号が入力されることにより当該  
携帯電話機の機能が制限された状態を解除することを特徴とした携帯電話機の制御方法。